



『施設情報』

基本診療料

- ・回復期リハビリテーション病棟入院料2
- ・医療安全対策加算2
- ・感染防止対策加算2
- ・診療録管理体制加算2
- ・データ提出加算2
- ・患者サポート体制充実加算
- ・後発医薬品使用体制加算1
- ・認知症ケア加算1
- ・入退院支援加算1

その他

- ・入院時食事療養費（I）

特掲診療料

- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
- ・運動器リハビリテーション料（I）
- ・廃用症候群リハビリテーション料（I）
- ・呼吸器リハビリテーション料（I）
- ・集団コミュニケーション療法料
- ・外来リハビリテーション療法料
- ・薬剤管理指導料
- ・検体検査管理・外来迅速加算（I）
- ・CT撮影（16列マルチスライスCT）
- ・遠隔画像診断
- ・がん治療連携指導料

『職員構成と業務内容概要』

臨床検査技師 男性1名(女性1名) 当院全職員数197名  
 勤務時間 月曜から金曜 8時30分～17時30分 土曜8時30分～12時30分  
 <業務内容>

生化学検査・血液学検査・尿一般・便潜血・血液ガス・心電図・無散瞳眼底検査・肺活量・簡易聴力

『取り組み内容』

回復期リハビリテーションの専門病院としての目的は、

- ①在宅復帰 ②ADL・QOLの向上 ③寝たきりの防止です。

在宅復帰を実現させるためには最低限、食事と排泄の自律が必要となります。

回復期単独病院の中にある少人数コメディカルとしての当院検査技師の役割

- ①感染管理チームの一員（ICTとして地域連携病院への勉強会や交流）、感染対策委員会議長 週一回の感染院内ラウンド
  - ②入院時検査の実施（生化学検査、血液算定検査、心電図、尿定性、尿沈査）
  - ③NST（栄養サポートチーム）の一員として栄養サポート委員会出席実践
  - ④安全管理（安全対策委員の一員としてインシデント事例について等）
  - ⑤外来診療時検査（一般健診、企業健診、特定健診、杉並区健診等）AMLへの外注処理
- 【院外研修】各種学会、AMG、日本検査技師会、都臨技、業者等  
 【院内研修】月一全体勉強会、院内委員会主催など